

奈良県同窓会だより

このところ奈良県でも、特に大阪寄りを中心に開業医数の増加が見られ、平成11年から本年5月までの会員数は、657人から702人に。また、医療機関数は597から656に増加しております。現在、奈良県の九歯大同窓会会員は15名で、大阪歯科大学(340名)朝日大学(77名)大阪大学(56名)松本歯科大学(29名)愛知学院大学(23名)に次ぐ数字ですが、九歯大ももう少し増えてもらいたいと思っています。

ところで、今年は奈良も他所と変わらず猛暑です。そんな中で、少し涼しさを感じる話題の一つ。

皆さんは名阪国道に福住インターというのがあるのをご存知でしょうか?。この福住インターは、私の診療所から近いのですが、ここを降りてすぐの所に「氷室神社」という神社があります。氷室(ひむろ)つまり氷の貯蔵庫です。10年前から地元のグループが、復元した氷室に、毎年2月に氷を貯蔵し7月の

炎暑の中で取り出す行事を行っています。意外にもかなりの量の氷が溶けずに残っているのですが、今年はそのうちの30キロの氷を荷車に載せて、山あいの道を5~6時間かけて奈良県庁まで運びました。

奈良時代、この地区の氷が平城京の皇族や上級公家のもとに運ばれたことが、天武天皇の孫にあたる長屋王の邸跡から発見された木簡に記されています。奈良時代の皇族や公家たちにとって、暑い最中に氷を口にして涼をとるということは、この上なく贅沢なことであったと思います。

2010年は、平城京に遷都されて1,300年目になります。「せんとかん」などのマスコットキャラクターが話題になっているのでかなり周知されてきました。

奈良も昔に比べるとかなり変わってきましたが、奈良らしい風情を残している所は、まだまだたくさんあります。この期に是非お出かけ下さい。

(奈良県同窓会会長 水谷 文美)

滋賀県同窓会だより

同窓会の皆様、書中お見舞い申し上げます。今年度の11月29日(土)に滋賀県総会があり学術講演を京都都ホテルにて近畿大学口腔外科教授濱田 傑先生(大26期)をお迎えして有病者の歯科治療について(仮)御講演していただきます。

それにさきだちまして、7月26日同ホテルにて役員会を下見を兼ねて開催しました。蒸し暑い日が続かなかホテルはとでもムードもあり、花火も見えて最高でしたが、老眼のはじまっているわたしたちには暗すぎて、皿にのっている貝殻にフォークをつきたててしまいました。

(辻 裕文 32期)

臨床のみならず、人生、趣味等に関して、若い先生方、ベテランの先生方、双方の交流の場として、全員が出席したいと感じられる企画を考えていかなければなりません。

会員発表や、大学の先生方をお呼びしてのセミナーもその一つですが、今後はアンケート調査を実施するなどして、会員の先生方の意識を把握し、どうしたら参加してもらえるのかを考えて、活気ある会員の先生方が居場所をみつけられる支部になるよう微力ながら総務として頑張っていく考えであります。

北陸支部の先生方は、皆なほんとうに気のやさしい、いい先生達ばかりです。富山、石川、福井、並びに各支部の各先生方、体調には充分気をつけてお仕事頑張ってください。

(北陸支部総務 嶋田 潔(福井)大34期)

北陸支部だより

平成20年3月29日(土)、遅まきながら新年会を兼ねた富山、石川、福井の3県からなる同窓会総会が、石川県粟津温泉「法師」で行なわれました。由緒ある温泉旅館で、落ちついた雰囲気の中、各先生方はしばしのやすらぎを感じ、お料理に舌づつみをうちながら、楽しんでおられる御様子でした。

総会では、齊藤新支部長のもと意見交換が行なわれましたが、特に問題となったのは、例年若い先生方の参加が少ない点ということです。卒後、年を重ねるごとに各先生方の世界が広がることもあり、母校への思いがうすらいでゆくことは淋しいかぎりですが、なんとと言っても同窓会の今後を考えると、若い先生方の参加が是非とも必要と思われまます。

訃報

- ◆西川 正仁先生(兵庫県専16) 平成19年9月13日にご逝去されました。
- ◆増山彌太郎先生(兵庫県3) 平成20年2月6日にご逝去されました。
- ◆崎田道臣先生(大阪 県3) 平成20年7月16日にご逝去されました。

謹んでご冥福をお祈り申し上げます

◇ 編集後記 ◇

「祇園祭が終わって大文字の送り火までのひと月ほど、京都は地獄です。年々暑さがこたえるのは齢のせいだけでしょうか?」 京都 (西川 洋一)

「この度び、多くの先生から原稿をいただき、無事発行に至りました。誠に有難く存じます。これからもよろしくお願い申し上げます。」 兵庫 (新田 典夫)

「初めての編集で不安だらけでしたが、先輩方からのご指導でここまでたどり着けました。ありがとうございます。」 大阪 (岡田 克也)

「この夏の暑さは、13年ぶりの猛暑だそうです。この通信が皆様のお手元に届く頃には、少しは過ぎやすくなっているのでしょうか。」 滋賀 (中川 賢一)

九州歯科大学同窓会



地区だより

近畿北陸地区連合会



Vol. 52

平成20年8月25日発行

事務所 〒659-0025 兵庫県芦屋市浜町10-5タカダメディカルビル2F ☎0797-31-2229

残暑お見舞い申し上げます

学術講演会総会開催
ご挨拶



近畿・北陸地区連合会会長という大任をおおせつかり、身をひきしめています。

皆様のご協力ご支援を賜りますようお願い致します。

また会員諸兄におかれましては、日々御健勝で診療に地域医療に御精励されておられることとお喜び申し上げます。

さて毎年、四季の気配が少しずつ変化しながら移行しているような気が致します。地球温暖化の影響でしょう。個人として、出来得ることとして、またしなければならぬ事は何かと考えさせられる今日この頃です。



平成20年度 第53回 九州歯科大学同窓会
近畿・北陸地区連合会総会議事録

- 日時 平成20年7月12日(土)
- 場所 大阪マルビル 大阪第一ホテル
- 出席 39名
- 司会 専務理事 西本達哉
- 1.開会の言葉 副会長 柴田正孝先生よりいただく
- 2.連合会会長挨拶 会長 鳥羽英紀先生
「学術的な盛り上がりだけでなく、いわゆるお祭りのな盛り上がりも目指したい…」
- 3.議長選出では、当番府県会長が議長となる慣習で、大阪府同窓会会長 山本克彦先生を指名
- 4.議事録署名人は大阪府のDr.岡谷・黒澤の二名を指名
- 5.物故者への黙祷 会員・家族に分けて紹介のうえ黙祷

- 6.報告
 - 1)平成19年度事業庶務報告 谷 泰雄 庶務担当理事
 - 2)評議員会報告 兵庫県同窓会会長 元村太一郎先生より
「来期より近・北より4名の評議員数になる予定…」

- 7.議事
 - 第1号議案 平成19年度会計収入支出決算に関し、承認を求むる件
 - 第2号議案 会員区分と会費に関し承認を求むる件
 - 第3号議案 平成20年度事業計画に関し、承認を求むる件
 - 第4号議案 平成20年度会計収入支出予算に関し、承認を

求める件
第5号議案 会則改正(会長任期3年を2年に)に関し承認を
 求める件

その他

高田前会長より「但し書きで平成21年度よりの実施としてはどうか。」と提案があり、いずれにしても本部と任期を合わせるということで承認を頂く。



挨拶される鳥羽会長(中央)と紫田(左)、壺坂(右)副会長

8.協議議題

- 1) 次期当番同窓会については兵庫県と役員会決定している旨、議長より披露。
- 2) その他なし

9.閉会の言葉 壺坂久次先生よりいただき閉会

このあと九州歯科大同窓会本部役員と近畿・北陸地区連合会会員との懇談会が開かれた。

1.豊永専務理事

来る10月12日に母校講堂にて、口腔保健フォーラムが開催されるので、ぜひご参加願いたい。本部執行部の副会長河野正俊先生が逝去され、後任に大学17期の三浦哲夫先生が就任された。



左から福田学長、松延同窓会会長、遠山理事

平成19年度事業は、80周年事業をはじめ、すべて遂行できた。

平成20年度は学術を主とした事業にしている。

2.遠山常務理事(広報担当)

ユニークな活動をされている先生がおられたら(例えば地元の新聞に掲載のような)ご紹介頂きたい。モニターの先生方には感謝しているが、原稿は1行22字でお願いしたい。他大学と違って、会員が会報の編集もしている。

3.林常務理事(女性会員対策担当)

現在の学生は30~40%が女性で、特に男性、女性の区別はしていない。ただリーフの会も女性だけではなく、男性も参加可能だがあまり来れないのが現実。

4.福田学長

大学は Semester 制を取り入れて4月1日から7月31日まで、10月1日から3月31日までの2学期制としている。国試が厳しくなり、今年全国で68.9%、母校でも79.8%の合格率で、

昨年落ちた人もまた落ちた人がいるので、これらの人を救済すべく動いている。自費収入が増えたこともあり、現在1億6千万の剰余金がある。

入試も前後期・推薦から前期・AOに変更する。AOと言えどもセンター試験は重視する。

AOでは県外からも5名を採る。

5.松延会長

この懇談会の際には、特に発言はなく、司会の私が質問として「ふるさと納税」で福岡県に寄付したいと思っているが…とお尋ねした際に、特に同窓会としては広報していないと回答された。

文責 谷 泰雄

学術講演会・九州歯科大学同窓会主催
 近畿・北陸地区連合会共催

総会終了後、会場を変えて同窓会本部、近畿・北陸地区連合会共催の学術講演会が行われた。歯周治療の第一人者的存在で、東京でご開業の弘岡秀明先生(大学26期)を講師としてお招きし、「科学に基づいた歯周治療」という演題で行われた。

再生療法やインプラント、あるいは審美歯科など、とかく派手な分野が最近注目されがちだが、今回の講演内容は、EBMに基づいた治療と、しっかりとしたケアを行えば、予後不良と言われている歯でも、インプラントを上回る長期保存が可能なので、まずは可及的に歯の保存に努めようという、歯科医の原点を再確認する内容で、保険診療で、一本の歯の保存に日々悪戦苦闘しているわれわれの励みになるものであった。

学術講演会終了後、懇親会が催され、アトラクションとして29期の青木先生の素晴らしいパフォーマンスやハワイアンバンド、カフナイラングース(全員OB)による歌や演奏、フラダンス(29期長崎三男先生の奥様とお嬢様による)と終始和やかな雰囲気になり、最後は肩を組んで校歌斉唱で終わりました。



講演される弘岡秀明先生



カフナイラングースの演奏中に乱入するアントニオ青木



バンドの演奏で優雅に踊る2人に拍手喝采!

京 都 府 同 窓 会 だ よ り

風薫る5月17日、全日空ホテルにおいて、平成20年度京都府同窓会総会が行われました。庶務の西川洋一先生(大32)の司会のもと、副会長石田登先生(大22)の開会の辞、会長小泉博先生(大22)のご挨拶、同窓会報告の後、議長選出が行われ、小笹浩之先生(大19)が選ばれました。平成19年度庶務報告の後、議題に入り平成19年度会計決算、平成20年度事業計画案、平成20年度会計予算案の承認を求める件が審議され、可決承認されました。守谷佳樹先生(大22)の閉会の辞で無事総会は終了致しました。

総会後、京都府歯科医師会理事の布袋先生(大37)から『平成20年度の保険点数改正のチェックポイント』を懇切丁寧に教えていただきました。布袋先生のよく通る美声、わかりやすい説明で、今まで理解不明瞭だった点が、一気にクリアになった気が致しました。

懇親会は、松尾弘先生(県4)の乾杯のご発声で始まり、全日空ホテル内の日本料理『雲海』よりお料理が運ばれ、楽しい語らいのひとときを過ごしました。記念撮影の後、西川侑先生(大16)の力強いエール、校歌斉唱でおひらきとなりました。

(京都 浦岡知加子記)

兵 庫 県 同 窓 会 だ よ り

とても暑い夏の日が続いていますが、同窓生の先生方、いかがお過ごしでしょうか。今朝、岩手、青森に、またまた震度6強の地震が、あったことを、報じていますが、阪神淡路大震災のような大きな被害は、なかったようで、やれやれです。しかし、思い返すに神戸の被害は、異常ですね。だれが、どんな材料と手順で、高速道路や建物を造ったのか?

ところで、私共、歯科界に明るい話題は、ないのでしょうか。医療安全が急に世間を席卷し、この地球高温化(温暖化ともいう)が、現実のものとなり、エコが讃えられるはずにもかかわらず、逆に使い捨て用品の使用が、当然のごとくになっております。私達診療所でも、レントゲンの取り扱い、ゴム手袋の使用法、器具の消毒、その他歯科薬物の使用に関して、極めて注意深い配慮が必要ではありますが、財政的裏付けは、全く放置されたままです。医療業界は、ムードや建前に負けることなく、科学的に合理的に地に足をつけた理不尽でない(保険点数にあった)医療安全に関するコンセンサスをつくり、可及的早々に発表する事が重要です。

兵庫県同窓会平成19年度の総会、懇親会が、6月22日(日)神戸北野の六甲荘にて、県歯科医師会会長橋本先生、専務村上先生のご臨席をいただき開催されました。学術講演は、常勤医が、歯科麻酔医2名という特徴を持った神戸市歯科センター所長の河合峰雄先生にお願いしました。同センターでは、2007年度において、全身麻酔545件、静脈鎮静麻酔185件、全身管理下歯科治療265件の実績をあげられ、我々の長い構想の結果ようやく実を結んだ神戸市での障害者歯

科治療が、いま、日本の最先端にあることに強い喜びを感じました。

さて、私共現執行部になって、2期目通算5年がすぎました。この5年間で、歯科業界の環境は、ガラッと変わってしまいました。歯科医師もそれに応じて変わっていかねば、ならないのでしょが、私も60近くになると体力も落ち、何が社会正義なのかもわかりにくくなり、変化に対応していくのは、たいへんでありますが、兵庫県同窓会は、若い先生方もたくさん入っていただき、ずいぶん若返りました。先輩の諸先生方には、後輩のために、ボーリングやゴルフ、新年会などの諸行事に出てきて、知恵を貸していただきたく、ご指導の程よろしくお願ひ申し上げます。

最近、思う事ですが、政治家や官僚の皆様には、選挙や天下りの事ばかり考えず、もっと日本を愛し、明るい日本の未来を創る仕事をしてもらいたいと願っています。

日本にこれ以上道路を造ってもCO2ばかりふえて明るい未来は、見えてきませんが、この血税で日本に子供を殖やし環境を整える政策を是非実行してもらいたいものです。最近、旅行してきたのですが、これらの政策を次々打ち出しているフランスでは、携帯や、ゲームなどをしている小学生も見かけませんし、以前どおり、幼い子供たちが、キヤーキヤーと街中を走り回り、美術館に並び、大きなおなかをつき出した女性が、誇らしげにそれもちこちで、闊歩しているのを見て、ものすごくうらやましく感じました。これこそが、介護も、年金も、医療保険問題も解決できる、スペードのエースだともいいますが。

(兵庫県同窓会会長 元村太郎)

大 阪 府 同 窓 会 だ よ り

7月12日(土)に大阪で開催の第53回近畿北陸地区連合会総会・学術講演会・懇親会に、各方面から沢山の同窓の先生方にご参集いただきまして、準備委員一同心より御礼申し上げます。お蔭様で盛会で終えることが出来ました。

その2週間後の土曜日の夕刻より、大阪市内で、若手の先生に同窓会に参加していただくごとの意図から、『若手対象保険研修会』と題して大31期の谷 泰雄先生を講師に研修会・懇親会を開催しました。日常の保険診療に直結するテーマに参加者から色々な質問、意見も出、有意義な集まりとなり、

今後も継続して行こうと考えています。懇親会は、ビル屋上でのビアガーデンで、学生時代に戻った雰囲気、若手、ベテラン交じり合って総勢35名程で楽しく会話がはずみました。



保険講習会の後ビアガーデンにて(大阪同窓会)

最後になりましたが、7月13日に逝去された大阪府第9代支部長 崎田道臣先生(県3)のご冥福をお祈り申し上げます。

(広報担当 下出 一夫)